

# Track 03 : 『お口の演技が上手になりたいの』

※SE : 手コキ音

右耳・通常（マイクに顔は向けず横並び）

（ hnt\_0132 ） ほむら「 はあ……落ちこむなあ……。 お姉ちゃん、18禁ゲームの  
声優に向いてないのかも……」

右耳・近め

（ hnt\_0133 ） ほむら「 ……あ、ごめんね？ イキそうになっちゃった？」

（ hnt\_0134 ） ほむら「 お姉ちゃんも随分、手コキが上手くなったでしょ？  
……でも、バージンなのに手でするのばかり上手く  
なってるのはどうなんだろ……」

（ hnt\_0135 ） ほむら「 ……前に本気でしてあげたら、  
30秒ぐらいで出しちゃってたよね」

（ hnt\_0136 ） ほむら「 なんかあの時、すごい謝ってたけど……男の人って、  
すぐイツちゃうのを悪いことだと思ってるの？」

（ hnt\_0137 ） ほむら「 たまにゲームのエッチシーンでも、  
主人公が謝ってる時あるから……」

右耳・囁き

（ hnt\_0138 ） ほむら「 ……お姉ちゃんに、早漏って思われたくない？」

（ hnt\_0139 ） ほむら「 ふふっ、図星だったのかな……急に、お姉ちゃんの手を  
止めにきてどうしたの？」

（ hnt\_0140 ） ほむら「 ……もお、我慢なんてしなくていいのに。  
お姉ちゃんの我が儘で触らせてもらってるんだし……」

（ hnt\_0141 ） ほむら「 やっぱり、台本で手コキのシーンがある時は、  
こうやって触っていると、感情移入しやすいんだよね」

右耳・通常（マイクに顔は向けず横並び）

（ hnt\_0142 ） ほむら「 えっと、次はこのセリフ……」

右耳・囁き

（ hnt\_0143 ） ほむら「 ……早く、あたしの手で出しちゃいなよ。  
あの子にしてもらうより、気持ちいいんでしょう？  
さっさと認めた方が、身のためよ……？ ？」

<p>右耳・囁き（前ページからの続き）</p>	<p>（ hnt_0144 ）ほむら「『所詮、男なんてこんなもん……あの子とは幼なじみで相思相愛？ 笑っちゃうわね。もう、あたしから離れられないカラダになってるクセに……』」</p>
<p>右耳・通常（マイクに顔は向けず横並び・囁き距離から顔を動かしながら）</p>	<p>（ hnt_0145 ）ほむら「……で、このあとなんだよね。抵抗しようとする主人公に、その……お口で……」</p>
<p>右耳・通常（マイクに顔を向ける）</p>	<p>（ hnt_0146 ）ほむら「あ、フェラチオってわかるよね？ ……実際に、女の子にしてみらったことってある？」</p>
<p>右耳・通常（マイクに顔は向けず横並び・顔を動かしながら）</p>	<p>（ hnt_0147 ）ほむら「今回、お姉ちゃんが担当するキャラって、エッチのテクニクもすごいっていう設定なんだけど、正直、上手く演じられる自信ないんだよね……」  （ hnt_0148 ）ほむら「……実はお姉ちゃん、お口の演技が苦手で……ゲームの感想でも、ユーザーさんに『紅衣ほむらのフェラは、ソバを嚙ってる音にしか聴こえん』とか書かれてたの……」</p>
<p>（ hnt_0149 ）ほむら「一応、上手になりたいと思って練習はしてるんだけど……実際にしたこともないし…… 他の声優さんたちの見よう見まねで、ただ水っぽい音を大きく鳴らすだけになっちゃって……」</p>	<p>右耳・通常（マイクに顔を向ける）</p>
<p>（ hnt_0150 ）ほむら「……試しに聴いてみてくれる？ ……あ、恥ずかしいから、やっているとこは見ないでね」</p>	<p>（ hnt_0151 ）ほむら「ん……ちゅっ、ずずずずっ……ずるるっ、ずるるっ、ずるるうっ……ん、はあっ……こんな感じ……。 やっぱり、お口でされてる感じしない……よね？」</p>
<p>正面・通常（移動しながら）</p>	<p>（ hnt_0152 ）ほむら「い、いいよ。無理に褒めてくれなくても……自分が下手なのは、よくわかってるし……」  （ hnt_0153 ）ほむら「……でも……でもねっ、上手になりたいっていう気持ちは本当なのっ。この仕事、好きだから……お姉ちゃんの声をオカズにしてもらえるの、すごく嬉しいし……」</p>

## 正面・近め（近付きながら）

（ hmt\_0154）ほむら「……それで、相談なんだけどさ。  
その……一度でいいから……試しにお口で……  
練習させてくれない？」

（ hmt\_0155）ほむら「お口でしたら、どんな音が鳴るのか……知りたくて……  
ちょうどおちんちんもこんなに大きくなってるし……」

（ hmt\_0156）ほむら「ふふっ、ごめんごめん。急にこんなこと頼まれても、  
驚いちやうよね。困ってる顔、かわいいんだもんなあ。  
ずるいんだから……ちゅっ……」

## 右耳・囁き（正面・近めから移動しながら）

（ hmt\_0157）ほむら「……いいよ。その気になるまで、  
おちんちんイジメちやうから……  
お姉ちゃんに、もつと気持ちいいことしてほしいって、  
考えちやうようになるまで……」

（ hmt\_0158）ほむら「……お姉ちゃん、ゲームの仕事に影響されすぎかな？  
まさかこんなセリフを弟に言えちやうなんて……」

（ hmt\_0159）ほむら「でも、男の人って面白いね……  
おちんちんおつきいて褒めてあげると、  
本当に嬉しそうな顔をして……」

（ hmt\_0160）ほむら「だからゲームでもそういうセリフが多いのかな。  
こうやって、おちんちん触らせてもらってると、  
本当に色々なことに気づけるの。  
……いっぱい、勉強させてもらってるよ？」

（ hmt\_0161）ほむら「……ねえ。お口するのは……ダメ？  
お姉ちゃん、もつともつとお勉強したいなあ……」

（ hmt\_0162）ほむら「ふふっ……まだイッたら、だるめ。  
お口でペロペロさせてくれるまで、  
ずうつと寸止めしちやう……  
こっぴうのを、射精管理って言うのかな……」

（ hmt\_0163）ほむら「……お姉ちゃんに、おちんちんを管理されちやうなんて、  
どんな気分……？」

（ hmt\_0164）ほむら「ああ、ほら……またイッちやいそうになっちゃった……  
段々、我慢できる時間が短くなっていつちゃってるね」

（ hmt\_0165）ほむら「……いいの？ お口でした方が、もつと気持ちいいかもよ？  
女の子に、おちんちんをお口でパクってされるの、  
初めてなんだよね……？」

	<p>右耳・囁き（前ページからの続き）</p>
	<p>（ hnt_0166 ） ほむら「 とういうのって、未来のカノジョさんに失礼かな？          色んな『初めて』をお姉ちゃんが奪っちゃって……          そんな気持ちよさそうな顔を、自分以外の誰かに          見せてたって知ったら……嫉妬されちゃうかも……」</p>
	<p>（ hnt_0167 ） ほむら「 でも、何度でも訊くよ？ ……お姉ちゃんのお口で、          おちんちん気持ちよくさせたらダメ？          お姉ちゃんも初めてだから、最初は上手くできないかも          しないけど……」</p>
	<p>（ hnt_0168 ） ほむら「 ……うふふつ。これでイキそうになったの、何度目かな？          どうする？ このまま、手で気持ちよくなっちゃう？          ほら……ほらほらほら……」</p>
	<p>（ hnt_0169 ） ほむら「 ……だゝめつ。今日は、お姉ちゃんのお口の中で、          ぴゅうつてさせるんだもん……ぴゅうつて……          ぴゅうつて……」</p>
	<p>（ hnt_0170 ） ほむら「 ……ていうか、あれでしょ？          本当はお口でしてほしいのにそれを言にくいというか……          お姉ちゃんに向かって『しゃぶれ』とか言えないもんね」</p>
	<p>（ hnt_0171 ） ほむら「 ……んじゃあ、こうする？ もし、お口でもいいって          言うなら……お姉ちゃんに、今こゝでキスしてみて？          そしたら——」</p>
	<p>正面・近め（右耳から顔を動かしながら）</p>
	<p>（ hnt_0172 ） ほむら「 んっん！？ んぢゅつ、ちよつ、んっ……          れろつ、ぢゅう、んっん……んぢゅ、ん、はあつ……          んっん、んんっ！？ んぢゅう、ぢゅるるつ……」</p>
	<p>（ hnt_0173 ） ほむら「 ぢゅつ、んっ、はあつ……ええつ？ そんなに……          お口でしてほしかったの？ やあつ、ちよつと待つっ、          んぢゅつ、れろつ、ぢゅう、はあつ……そんなにつ、          がつつかなくても……んぢゅ、れろつ、れろれろつ、          れろおつ、ぢゅううう、んぢゅうう……！」</p>
	<p>（ hnt_0174 ） ほむら「 んっ、ぢゅつ、ぷあ……はあつ、はあ……はあ……はあ……          そんなに……激しいキスするなんて……聴いてない……          めっちゃ……舌絡めてくるし……」</p>
	<p>（ hnt_0175 ） ほむら「 ん……でも……お口でしていいってことだね？          ふふっ……ありがと、ちゅっ♪          お姉ちゃん、がんばるから……最初は優しくするね」</p>

左耳・近め（移動しながら）

（hmr\_0176）ほむら「……どうしよ、緊張してきちゃった。

ん……え？ おっぱい？

……あ、ごめんね。腕、痛かった？

押しつけてたのは、わざとじゃないよ……

そんな余裕、今のお姉ちゃんにはないもん……」

正面・近め（移動しながら）

（hmr\_0177）ほむら「……じゃあ、そのままベッドに座ってて？」

正面・しゃがみ込みながらうつむく

（hmr\_0178）ほむら「お姉ちゃんは床に座るね……ん……よいしょと……

あ……おちんちん、こんなに間近で見るの初めて……  
元から、おっきいとは思ってたけど……

すごい……迫力……」

（hmr\_0179）ほむら「ん……ちゅっ、ちゅっ。おちんちにキスするのどう？

もっと、音を大きくした方がエッチかな……

んん……ちゅっ、ちゅう。ちゅっちゅっちゅっ……」

（hmr\_0180）ほむら「……ふふっ。まだ舐めてもいないのに、

おちんちんビクンビクンしてる……

ごめんね、いっぱい我慢させちゃって……

お姉ちゃんの舌で気持ちよくなってるいいからね……」

（hmr\_0181）ほむら「ん……ちゅ、ぴちや……れろっ……んん……はあっ……

んっ、れろっ……ちゅう、んんっ……ねもとから……

こっやつれ……ぴちや……れろっ……ちゅう、ちゅっ、  
なめるの……ん、ぴちや、れろれろっ、んん、どお？」

（hmr\_0182）ほむら「んん、ちゅっ、れろっ……はあ、もつと……舌、うごかした

ほうがいい……？ ん、ぴちや……はあ、れろっ、ん、

れろれろっ、れろれろれろっ、ぴちや、ちゅっ……」

正面・しゃがんだ状態で顔を上げながら

（hmr\_0183）ほむら「ん、はあ……おちんちん、すごい……見て？

こんな反り返ってる……ん、ぴちや……れろっ……

れろっ、れろっ……れろお……っ、ん、ちゅっ、はあ、

なんか……男らしくて惚れ惚れしちゃう……」

（hmr\_0184）ほむら「ふふっ、相変わず顔とのギャップがすごいけど……

普通の女の子は、ぜったい想像できないと思う……

その顔で、こんなグロチンポ……」

正面・しやがんだ状態でうつむく

（hm\_0185）ほむら「ん……」こが……裏筋……ちゅつ、れろれろつ、れろんつ、ぴちや、ちゅう……はあ、れろれろれろれろつ、れろ、れろれろれろれろれろれろつ……」

「hm…0186）ほむら」  
 んっ、ん……はあ、おちんちんの悦び方すごいね……  
 もしかしてお姉ちゃん、初めてでも結構上手い？  
 ゲームでこういうシーンたくさん演じてきたから、  
 知識だけはあるんだよね……」

顔を上げながら

( hmt\_0187) ほむら「ちゅっ、ん……」うやつて……上目遣いで見つめながら、舌を動かすのは？ んん、れろっ、れろれろれろっ、ちゅうう、ぴちや、れろっ、れろれろれろっ、れろっ、れろれろれろお……っ！」

※  
S  
E  
..  
射精

(hmt\_0188) ほむら「ん、ふえ？ ええつ、やつ出ちやつ……ん、はあつ……顔につ……かかつてつ……ふつあ、ああつ……ああ……すごい……勢い……んちゆつ、はあ、れろつ……ん……せーえき……なめてみる……ん、ちゆ、ぴちや……ん、ちゆう、ぴちや、れろつれろれろつ、んつ、はあ……」

（hmt\_0189）ほむら「……あれ？　なんか……せーえき、甘いんだけど……  
 ぴちや、ちゅっ……れろっ、んん……ぴちや、ぴちゅ、  
 ちゅっ、れろっ……はあ……全然、苦くない……  
 想像してたのと違った……」

( hmr\_0190) ほむら「……ん、汚くないよ？  
今まで、がんばって我慢してくれてたんだもんね  
おちんちゃん、よしよししてあげたい気分……  
でも困ったな……弟のことを、こんなに愛おしく  
思っちゃうなんて……」

※SE..髪を撫でる

（hm、0191）ほむら「ん、なあに？ 急に頭を撫で始めて……  
とうとう、お姉ちゃんにガチ恋しちゃった？」

正面・立ち上がりながら

「……んーん、お礼を言うのはこっちのほう……  
 もお、またそうやって早くイツちやったことを  
 気にするう……」

## 正面・近め

〔 hnt\_0193〕 ほむら「ん……ちゅっ……あ、キスはいいいよ……  
おちんちん、舐めたあとだし……  
優しくしてくれるのは嬉しいけど……  
せーえきの味がしちや……ん、ちゅっ、んんっ……  
ちゅっ、んん、はあっ……んんっ、ちゅう、れろっ……  
れるれるっ、ちゅう、ちゅっ……」

〔 hnt\_0194〕 ほむら「……やば、今のキス……蕩けそうになった……  
女心よくわかってるね……  
だって、フェラチオしたあとにキスを嫌がられるの、  
傷つく子もいると思うし……」

〔 hnt\_0195〕 ほむら「お姉ちゃんも……嬉しかったもん……すく……」

〔 hnt\_0196〕 ほむら「あ、待って。まだ、おちんちんしまわないで……  
お掃除フェラっていうの……してあげる……  
だいじょーぶ、汚くないから……また座って？」

## 正面・しゃがみ込みながらうつむく

〔 hnt\_0197〕 ほむら「ん……ちゅっ、はあ……れろっ……ん、れろんっ……ちゅ、  
ぴちや、れろっ……ん、ふふっ、今日は元気だね……  
出したばかりなのに、ずっと硬いままで……」

〔 hnt\_0198〕 ほむら「ぴちや、ん……はあ、れろっ……ぴちゅ、ちゅ……んん、  
ほんと、せーえき甘くて……ずっと舐めていられる……  
ちゅっ、はあ、おしゃぶりもしてみよっかな……」

## 正面・しゃがんだ状態で顔を上げる

〔 hnt\_0199〕 ほむら「ん、はあ……む、んちゅ、ちゅう……はあ……ん、ちゅう、  
はあ、おっひい、んんっ……ちゅう、ぴちや……ちゅ、  
んちゅ、ちゅうう、はあ……ちゅるる……」

〔 hnt\_0200〕 ほむら「ちゅっ、はあ……これが……ほんとうの……ふえらちおの、  
ん、ちゅ、おと……んちゅ、ちゅうう……んっ、ちゅ、  
ちゅうう、んちゅっ、ちゅるるうう……」

〔 hnt\_0201〕 ほむら「んちゅう、ぽっ……はあ、どんどんおつきくなってる……  
ん、ちゅっちゅっちゅっ……はあ、今日のおちんちん、  
エッチすぎるよお……」

〔 hnt\_0202〕 ほむら「ん、はあむ、んちゅっ、んんっ……んんっ……んちゅっ、  
ちゅ、んちゅっ、ちゅっ、ちゅぽっ、ちゅぽっ、ちゅ、  
んちゅるっ、ちゅるるう、んちゅっ、ちゅっぽ、んん、  
ちゅるるっ、んちゅ、ちゅるるるっ……」

正面・しゃがんだ状態で顔を上げる(前ページからの続き)

( hnt\_0203) ほむら「んぢゅ、はあ……まら……らせる？ こんろは……おねえひやんの……おくひのなかれ……んぢゅ、ぢゅ、ぢゅるるっ、んぢゅるるっ、ぢゅううう、んぢゅるる、ぢゅううぽっ、ぢゅるるるっ、ぢゅるるるう……！」

( hnt\_0204) ほむら「んふ、んぢゅっ、ぢゅるう、んぢゅるるっ、はあ……げーむれも……こういうおと……らせるように……がんばる……んぢゅっ、ぢゅるるるっ、んぢゅっ、ぢゅ、ぢゅるるう、んぢゅ、ぢゅぽっ、ぢゅっぽ、ぢゅうう、ぢゅっぽ、ぢゅぽっ、ぢゅっ、ぢゅるるるっ……！」

( hnt\_0205) ほむら「ん、ぢゅっ、はあ……んぢゅ、ぢゅるる……ぢゅう、ん、ぢゅっ、はあ……いいよ、らふいて……おくひのなかにいつふあい……んぢゅ、ぢゅるるっ、ぢゅ、ぢゅう……！」

( hnt\_0206) ほむら「ん、ぢゅっ、はあ……んぢゅ、ぢゅるる、んぢゅっ、ん、んぐ、んんっ、ぐぷっ、ごぽっ、ごぷっ……んんっ、んぢゅっ、ぢゅるるっ、んんっ、ぢゅぽっ、ぢゅっぽっ、ぢゅぽっ、ぢゅうう、ぢゅるるるっ、ぢゅうう……！」

※S E…射精

( hnt\_0207) ほむら「んっん、んんんっ！？ んぐっ、んっんん！？ んん！？ んぢゅっ、はあ、んんぐ、んぐっ、んんっ、ぢゅう、ぢゅるるるっ……んんっ、んぐ、んんっ……んぢゅ、ん、んぢゅ、ぢゅううう、ぢゅるる、ぢゅううう……！」

( hnt\_0208) ほむら「ぢゅるるるっ、はあ……ぜんぶ……らふいていいよっ……ん、はあむ、んぢゅ、んぢゅう、ぢゅるるるっ、ぢゅっ、ぢゅううう！ ぢゅっ、ぢゅうう！ ぢゅうううっ、ぢゅうううう……！」

( hnt\_0209) ほむら「ん、ぢゅ、ぽ……はあ……ああ……しゅー、こんらに……れた……おくひのなか……みえる？ んんっ、のんれも……へいきらよね……んっ、ん、んっ、ごくっ……ごく、ん、んぐ、ん、ごくっ、ごく、ごくん……」

( hnt\_0210) ほむら「ん……ん、はあ……ああ……あまい……せーえきって……こんなに美味しいんだ……ん、ちゅっ、ちゅっ♪ おちんちん、がんばってくれてありがとう！」

正面・立ち上がりながら

( hnt\_0211) ほむら「……今度は、お姉ちゃんが頭をよしよししてあげるね。くす、いいよ。おっぱいに顔を預けてきても……」



右耳・囁き（正面・近めから移動しながら）

（ hnt\_0212 ） ほむら「……よしよし。赤ちゃんみたいだね……  
おちんちん、気持ちよかった？」

正面・近め（右耳・囁き距離から移動しながら）

（ hnt\_0213 ） ほむら「……しあわせそうな顔してるね……  
ちゅっ、ちゅっちゅっ、ちゅっ」

（ hnt\_0214 ） ほむら「お姉ちゃんも初めてフェラチオしてみたけど……  
なんか……すごい幸せだった……  
上手く言えないんだけど……お口の中でおちんちんが  
大きくなっていくと、胸がいっぱいになって……」

（ hnt\_0215 ） ほむら「ゲームの中の女の子たちが、よくおちんちんをかわいって  
言うの、きつとこういう気持ちなんだね……  
お姉ちゃん、ハマっちゃいそう……お口の中に、  
おちんちんを閉じ込めておくの……」

（ hnt\_0216 ） ほむら「それに……んぢゅ、ぢゆるる、んぢゅ、ぢゅうう、ぢゅぽ、  
ぢゅううっ、ん、はあ……これ、だよな？  
おちんちんを、おしゃぶりする音……」

（ hnt\_0217 ） ほむら「もう、ソバを嚙ってる音とは言わせないもん。  
……ご協力感謝、ちゅっ♪」

右耳・囁き（移動しながら）

（ hnt\_0218 ） ほむら「ふふっ。よしよし……よしよし……」

※トラック4へ